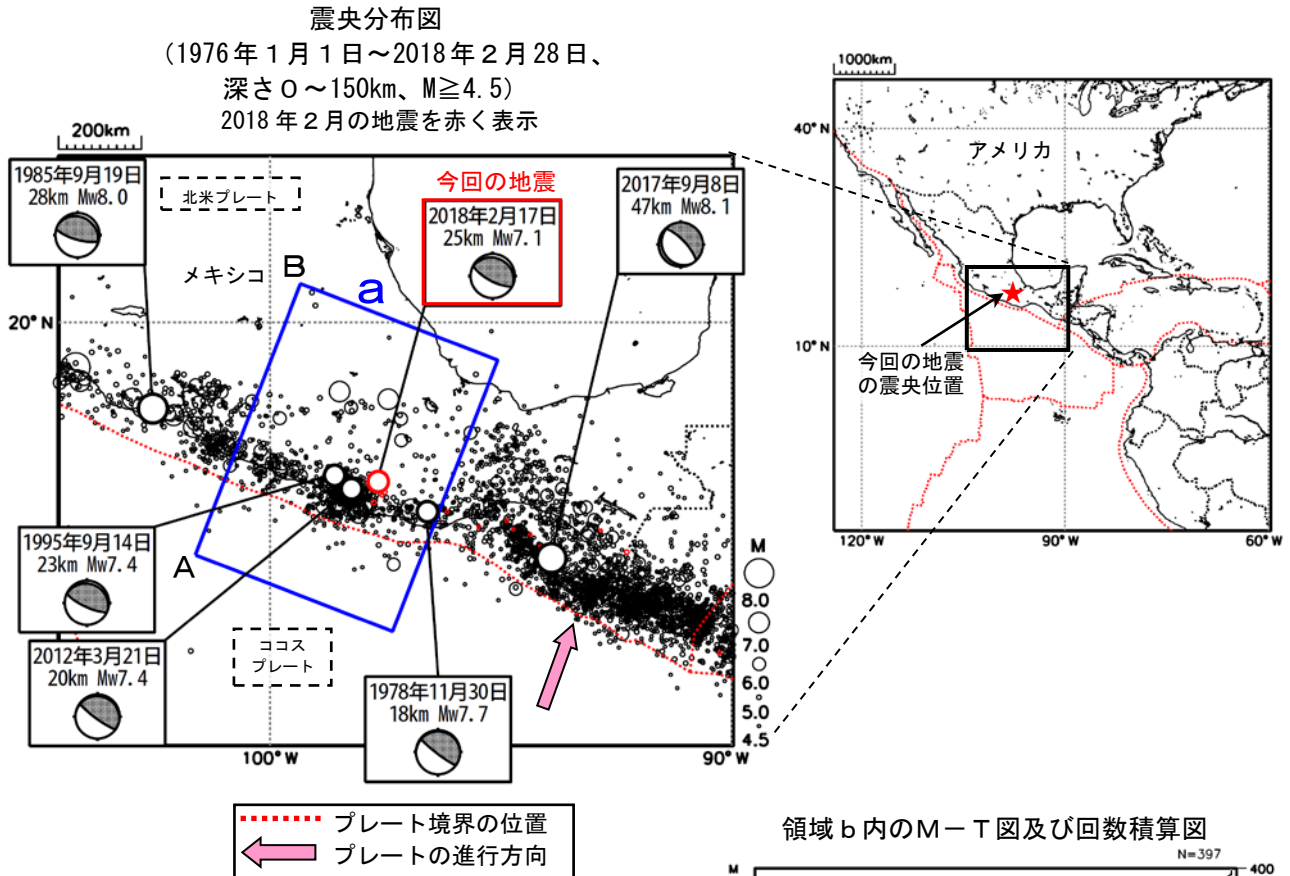


2月17日 メキシコ、オアハカ州の地震

2018年2月17日08時39分(日本時間、以下同じ)に、メキシコ、オアハカ州の深さ25kmでMw7.1の地震が発生した。この地震は、発震機構(気象庁によるCMT解)が北北東-南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、ココスプレートと北米プレートの境界で発生した。この地震により、現地で負傷者2人等の被害が生じている。

気象庁は、この地震について同日08時55分に遠地地震に関する情報(日本への津波の有無については現在調査中)、09時18分に同情報(日本への津波の影響なし)を発表した。

1976年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は、ココスプレートが北米プレートに沈み込むことに伴い地震活動が活発な領域であり、M7を超える地震も時々発生している。2012年3月21日には、Mw7.4の地震が発生し、周辺で地震活動が活発になっている。この地震により死者2人、負傷者13人の被害が生じた。また、最近では、今回の地震から東南東方向に約500km離れた場所では、2017年9月8日にMw8.1の地震が発生し、死者98人等の被害が生じている。



※断面図で震源が線状分布しているのは、震源の深さを10kmまたは33kmに固定して、震源を決定しているためである。

※本資料中、今回の地震と2012年3月21日、2017年9月8日の地震の発震機構とMwは気象庁、2009年以前の地震の発震機構はGlobalCMTによる。その他の地震の震源要素はUSGS(米国地質調査所)による(2018年2月28日現在)。2012年3月21日の地震の被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による。今回の地震の被害は、OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)による(2018年2月28日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)*より引用。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.